

はじめに 3
 本書の使いかた 7

Einleitung (序)

1. 語順あれこれ 10
2. 英語は簡素化している 11
3. ドイツ語と英語の共通点 13

アルファベットと発音 14

Teil 1 (第 1 部) 動詞と文のしくみ

1. 動詞の現在形 — 「英語にも動詞の活用はある！」 22
2. 動詞の位置 — 「語順で決まるか、位置で決まるか」 30
3. 疑問文の作りかた — 「英語だって、引っくり返る！」 36
4. 命令文の作りかた — 「英語はなぜ原形を使うのか」 41
5. 分離動詞 — 「英語でも分離する！」 47
6. 話法の助動詞 — 「よく似た兄弟同士」 54
7. 否定文の作りかた① — 「not と nicht」 62
8. 副文 — 「英語は従属節になる」 68
9. 接続詞 — 「英語だって厳格だ！」 76
10. 副詞と副詞句 — 「時と場所が逆になる」 83

第 1 部のまとめ 88

Teil 2 (第2部) 名詞と格変化

1. 名詞の性 — 「英語は一本化！」 92
2. 名詞の複数形 — 「英語は思い切って簡略化！」 98
3. 格変化とは — 「英語は語順で表現する」 103
4. 定冠詞の格変化 — 「英語は **the** しかないけれど」 110
5. 不定冠詞の格変化 — 「英語は **a / an** しかないけれど」 117
6. 否定文の作りかた② — 「『**no** + 名詞』が本流になる」 124
7. 所有冠詞 — 「英語は形が変わらない」 128
8. 人称代名詞 — 「**I, my, me** のドイツ語版」 133
9. 再帰代名詞 — 「**myself** は厳密に使われる」 141
10. 前置詞の格支配 — 「英語にもある！」 146

第2部のまとめ 154

Teil 3 (第3部) 動詞の時制と態

1. 再帰動詞 — 「英語は自由に自動詞化！」 156
2. 過去形 — 「**-ed** が **-te** になる」 163
3. 過去分詞 — 「過去形とは違う形になる」 168
4. 現在完了形 — 「形は同じで用法が違う」 177
5. 過去完了形 — 「英語と同じもの、あった！」 183
6. 受動態 — 「英語は **be** に一本化！」 187
7. 未来形 — 「英語のほうが複雑！」 196

第3部のまとめ 204

Teil 4 (第4部) 形容詞のしくみと関係代名詞

1. 形容詞の用法 — 「形容詞を副詞にできる？」 208
2. 形容詞の格変化 — 「英語に語尾はつかないのに」 212
3. 形容詞の名詞化 — 「英語は **the** をつけるだけ」 219
4. 比較級と最上級 — 「発想も形も英語と同じ」 224
5. 関係代名詞 — 「ドイツ語はコンマで区切られる」 229
6. 指示代名詞 — 「**that** のもう1つの顔」 239

第4部のまとめ 244

Teil 5 (第5部) zu 不定詞と接続法

1. **zu** 不定詞 — 「**to** 不定詞と語順が逆に」 246
2. 現在分詞 — 「うしろから修飾できない！」 256
3. 接続法とは — 「英語にも接続法はある？」 264
4. 要求話法 — 「英語で原形を使うとき」 270
5. 間接話法 — 「時制の一致は不要！」 275
6. 非現実話法 — 「なぜ過去形が仮定法になるのか」 281
7. 婉曲話法 — 「なぜ過去形で丁寧になるのか」 287

第5部のまとめ 293

エピローグ：文章の流れ—マクロな視点から 294

付録：文法用語対照表 299

コラム：英語が見えてくる！—一覧 302